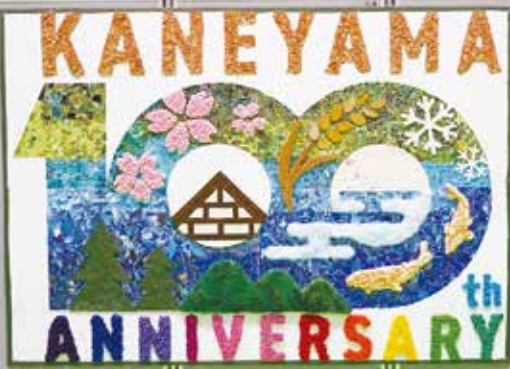


山形県金山町 町制施行100周年記念式典



もくじ 《表紙の説明は16P》

大雨被害の復旧急務	2～3P
予算は正しく使われたか	4～7P
町政を問う（5議員）	8～13P
町民の声（大山順子さん）	16P



大雨被害の金山小 裏山調査実施

～ボーリング地質調査ほか 地滑り計を設置～

9月定例会が5日から12日まで開催された。令和5年度決算の認定を含む22件の提出議案を審議し全員賛成で可決した。7月の大雨により被害を受けた農地・町道・河川・グリーンバレーカムロ・小学校などの復旧のため多くの予算が補正された。

【議第76号から84号】
中村忠行議員（議第79号）
激甚災害指定で被災した農家の受益者負担を軽減できないか。
産業課長 最上管内で受益者負担がないのは、新庄市・真室川町・鮭川村・戸沢村。今回は激甚災害の交付税措置があるが、この際の財源として使用できるか県に確認中である。
沼澤道也議員（議第79号）
生活応援商品券を配布する意図は。またグリーンバレーのサウンディング調査とは。
総合政策課長 商品券は町民からの要望と町内商店街の経済的支援を合わせて考えたものである。また、前年度基金が積み上がり町民に還元する意図もある。
産業課長 グリーンバレーの5施設の指定管理の期限が来年度末までで、令和8年4月以降のありかたを検討する必要がある。サウンディング調査とは、それら施設の活用について直接の対話により民間



被災した鍋倉川

事業者の意見や提案の把握を行い検討を進めるものである。
大場洋介議員（議第79号）
支障木の伐採など河川の災害復旧の現状や課題は。
環境整備課長 7月の集中豪雨で最上管内の多くの河川が被災した。現時点では、当面被災した箇所での復旧工事を最優先に実施している。河川の支障木などが、いかに流下能力を低下させているかを災害防除の観点から訴え、県に支障木伐採などの要望を続けている。
事業者の意見や提案の把握を行い検討を進めるものである。

議案への質疑応答要旨

【議第85号から87号】
沼澤道也議員（議第85号）
まだ建物の整備がされてない中、金山中央公園の名称と設置条例をなぜこのタイミングで上程するのか。
総合政策課長 中央公民館の解体に過疎債を活用した関係上、中央公園としての位置付けを明確化し、今後行政財産として管理する為この時期に

【議第85号から87号】
沼澤道也議員（議第85号）
まだ建物の整備がされてない中、金山中央公園の名称と設置条例をなぜこのタイミングで上程するのか。
総合政策課長 中央公民館の解体に過疎債を活用した関係上、中央公園としての位置付けを明確化し、今後行政財産として管理する為この時期に

矢口政一議員（議第79号）
今年の鳥獣被害の状況は。
産業課長 米の食害、田んぼの畦畔を掘るなどは去年同様にある。特に今年は、長野・中田・有屋地区に多い傾向。落花生にもカラス、タヌキの被害が多くでている。

須藤典夫議員（議第79号）
指定管理施設の改修や修繕を全て公費で賄っている。振興公社との契約に他も準ずる形だが収益は管理者に入るの、今後負担を見直すべきでは。
総合政策課長 特にホテルは改修など全て町が負担している。管理者が負担して営業できる経営状態にない。協議はするが施設自体が古くなっているためご理解いただきたい。
矢口政一議員（議第79号）
今年の鳥獣被害の状況は。
産業課長 米の食害、田んぼの畦畔を掘るなどは去年同様にある。特に今年は、長野・中田・有屋地区に多い傾向。落花生にもカラス、タヌキの被害が多くでている。

総合政策課長 平成30年から令和2年にかけて財政状況が大変厳しく、あらゆる見直しを行った。令和5年度決算でみると基金増、起債減少など状況は良いが、新たな建物を建てれば管理費もかかることを十分考えながら対応する必要がある。

星川智子議員（議第85号）
温泉更新を含むグリーンバレーへの投資、災害復旧、經常収支比率の増加などを踏まえて中央公園の整備を財政面からどう見ているのか。
総合政策課長 平成30年から令和2年にかけて財政状況が大変厳しく、あらゆる見直しを行った。令和5年度決算でみると基金増、起債減少など状況は良いが、新たな建物を建てれば管理費もかかることを十分考えながら対応する必要がある。

宮林聡志議員（議第85号）
金山中央公園は都市公園として認定されるのか。それに伴う交付税措置は。
総合政策課長 都市公園として管理していく予定。町全体の都市公園面積が約47ヘクタールで176万円の交付税が措置されているが、今回1.2ヘクタール追加され4万円程増える見込みである。

【議第85号から87号】
沼澤道也議員（議第85号）
まだ建物の整備がされてない中、金山中央公園の名称と設置条例をなぜこのタイミングで上程するのか。
総合政策課長 中央公民館の解体に過疎債を活用した関係上、中央公園としての位置付けを明確化し、今後行政財産として管理する為この時期に

9月議会定例会提出議案

（各会計決算の認定はP4～7参照） ※全議案全員賛成で可決

1. 条例の設定、一部改正

議案番号	議案名	議案の主な内容
議第85号	金山町中央公園の設置及び管理等に関する条例の設定について	・美しい街並み景観の形成に資するとともに、町民の生活環境に潤いと安らぎの場を提供することを目的とした中央公園の整備に伴い、その設置及び管理等に関して必要な事項を定めるもの。
議第86号	金山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	・職員が土・日曜日に勤務することを命ぜられた場合の週休日の振り替えについて、半日勤務時間の取り扱いを現状にあわせて整備するもの。
議第87号	金山町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について	・金山町神室スキー場のリフト券について、指定管理者が管理運営するにあたり、シーズン券料金を元に戻すとともに、時間券等料金の上限額を引き上げることで事業収益の改善を目指すもの。

2. 令和6年度各会計補正予算

議案番号	会計名（補正番号）	補正の主な内容	補正額(千円)	補正後(千円)
議第76号	金山町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認について	・定額減税調整給付金事業 9,653千円 ・企業版ふるさと納税マッチング支援手数料等 1,115千円 ほか	10,935	4,691,735
議第77号	金山町一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	・7月25日からの災害対応（消防団員出動報酬、農地・道路橋梁等復旧費）等	91,050	4,782,785
議第78号	金山町一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認について	・小規模農地等災害緊急復旧事業 20,000円 ・他自治体への災害復旧対応派遣費用 300千円	20,300	4,803,085
議第79号	金山町一般会計補正予算（第6号）	・財政運営基金、資産活性基金積立金 146,576千円 ・物価高騰対応町民応援商品券発行事業 50,333千円 ・鍋倉川災害復旧工事 103,200千円 ほか	479,715	5,282,800
議第80号	金山町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	・新型コロナウイルスワクチン接種経費等 5,200千円	5,200	225,496
議第81号	金山町介護保険特別会計補正予算（第2号）	・令和5年度給付事業確定に伴う返還金等 28,665千円	28,665	810,519
議第82号	金山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	・職員時間外手当 115千円	115	80,611
議第83号	金山町水道事業会計補正予算（第2号）	・鮭川村への応急給水及び応急復旧費用等 1,100千円	1,100	201,400
議第84号	金山町下水道事業会計補正予算（第2号）	・マンホールポンプ修繕料 998千円 ・浄化センター監視盤修繕料 929千円 ほか	2,124	211,796
議第91号	一般会計補正予算（第7号）	・金山小学校裏山地滑り計設置工事 500万円	5,000	5,287,800

3. 人事案件、その他

議案番号	議案名	議案の主な内容
議第88号	山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	被保険者証等の廃止に伴う変更
議第89号	最上広域市町村圏事務組合規約の一部変更について	新たに「副管理者」を設置することに伴う変更
議第90号	金山町教育委員会委員の任命について	栗田 剛氏の任期が令和6年9月30日をもって満了することから、新たに栗田 伸一氏（上中田）を任命するもの

令和5年度

決算特別委員会

9月
9・11・12日
町民ホール

令和5年度の予算（一般会計、5特別会計、1企業会計）がどのように使われ、どのような効果があったか審議するため、決算特別委員会が設置された。委員長に須藤典夫委員、副委員長に中村忠行委員を互選し、丹洋一代表監査委員から各会計決算審査後の意見、留意事項等の説明を受け、委員長を除く9名の委員が質疑を行った。全会計の決算については、全員賛成で認定された。



須藤典夫 決算特別委員長

令和5年度各会計決算提出議案

各会計決算状況 ～全員賛成で認定される～

議案番号	会 計 名	歳入決算額	歳出決算額
議第69号	一般会計	50億1824万円	46億9976万円
議第70号	国民健康保険特別会計（直診勘定）	2億4790万円	2億3072万円
議第71号	介護保険特別会計	8億3788万円	7億7906万円
議第72号	後期高齢者医療特別会計	6998万円	6856万円
議第73号	農業集落排水事業特別会計	9905万円	9555万円
議第74号	公共下水道事業特別会計	1億8437万円	1億7626万円
議第75号	水道事業会計（収益的収支）	1億9151万円	1億7961万円
	水道事業会計（資本的収支）	4000万円	1億1105万円

決算審査意見



丹 洋 一
代表監査委員

一般会計並びに6特別会計の歳入歳出決算書、実質収支に関する調書は、法令に準拠して作成されており、決算計数は、関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りなく適正と認めた。

主な財政指標では、経常収支比率は90.6%となり、前年度と比較し3.1%上昇している。要因としては、地方交付税が減額したこと及び人件費、グリーンバレー神室施設の指定管理料や光熱水費等の物件費の上昇によるものであり、令和6年度においても物価の高騰は続いているため、令和6年度の決算にも影響すると予想される。実質公債費比率は9.4%、将来負担比率は算定されておらず、財政健全化比率について問題はない。

また、財政運営基金残高は約1億7千万円増加し、全会計で約2億6千万円増加している。常に長期的に標準財政規模の5%以上の額を堅持していただきたい。

米価に対する町の対応は

宮林聡志委員

問 今年の米価が提示され値上がりしている状況である。農家への施策は。

答 産業課長 米価が上がれば農家の収入が上がりホッとしている、昨年度は資材や燃料費の高騰に対し農業緊急支援対策事業者補助金で対応した。農家を支援して離農や耕作放棄地の発生を抑制するため、今後の動きに併せ適切な対策をしていく。



令和6年産米の出荷

連合婦人会が抱える課題は

五十嵐優一委員

問 連合婦人会の組織体制は。また、事務局を行政で担うことはできないか。

答 教学課長 加盟地区は8地区で、令和元年に200名を超えていた会員は昨年度130名を割った。団体との意見交換会で事務局を行政にという要望があったが、現在の職員体制では難しいと感じている。



連合婦人会防災学習会

林業従事者の確保策は

大場洋介委員

問 森林経営管理制度の取り組みに緑の雇用などの支援制度を活用し、林業に就きたい人に金山で知識や技術を学んでもらえるようPRをするべきでは。

答 産業課長 町の基幹産業である林業において重要な役割を持つ金山町森林組合も緑の雇用で募集し、今年度1名を正式に雇用した。農林専門職大学の研修生の受け入れており、雇用拡大につなげたい。今後も森林組合と相談しながら町の役割を見出していきたい。



農林大学校生徒のインターンシップ

地区交付金を増額しては

星川 智子 委員

問 地区応援割は来年度も実施するのか。人口が減少し、地区の運営資金も減って運営が厳しくなるため交付金を増額することはできないか。

答 総務課長 地区応援割は令和5年度に続き6年度も交付した。来年度も予算要求し、継続したいと考えている。地区の構成人員が減れば地区経費、人的労力も減るので必要に応じて見直していきたい。



区長会議

農家への利子補給復活を

中村 忠行 委員

問 融資を受ける農家が少なくなっているようだ。農家の投資意欲が低下していることが懸念される。町の利子補給の状況は。

答 産業課長 平成28年度以降の借り入れには国が5年間、県と町が5年間利子補給し、10年間無利子となるが、令和3年度、県と町の支援が終了した。令和4年度以降は国の支援が5年間あるのみ。利子補給は良い制度であり、町の負担も大きくないので復活も考えた。

農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）			
認定農業者が経営の改善のために、日本政策金融公庫から借り入れる資金です。			
1 資金の特徴			
(1) 機械整備から長期運転資金まで幅広く対応 (2) 返済期間が長く、償還期間も長いので農地取得にも対応可能 (3) 1人・農地プランに該当者又は農地や経営改善機関から助成金等借り受けた農業者については、国の利子助成（貸付当初5年間の利子補給） (4) 原則として、農業関係基金協会の機関保証は利用できません。			
2 利用対象者			
認定農業者（市町村長に経営改善計画の認定を受けた農業者や法人）			
3 利用条件等			
資金用途	事業規模	事業計画	返済方法
【農業関係以外】 【法人】3億円以内 【個人】10億円以内 【農業関係】 【法人】6,000万円以内 【個人】2億円以内	※経営拡大を目的とする場合は、運転資金としても活用できます。	※制度資金の借換のための負債整理は対象外です。	
償還期間	25年以内（うち期間満期10年以内）		
利 率	固定金利、貸付利率は毎月変動（詳しくは日本政策金融公庫HP「金利一覧」参照）		
担保・保証人	原則必要（必要かどうかは条件によりますので、日本政策金融公庫にご相談ください。）		
保 証 料	—		
返済方法	年1回～12回返済（選択制）		
審査期間	融資決定までに2ヶ月程度必要（お急ぎの場合は、日本政策金融公庫にご相談ください。）		
※上記以外にも条件がありますので、詳しくは、日本政策金融公庫までお問合せください。			
4 取扱金融機関			
日本政策金融公庫 ※公庫と提携している金融機関についても、本資金も取扱うことができますが、金融機関によっては別途条件がありますので、各金融機関へお問い合わせください。			



グリーンバレーマネジメント総括は

寒河江 宏一 委員

問 (株)Beeryu（ベリュー）とマネジメント契約を締結したが、その評価は。

意識改革を行ったが、営業成績は上がらなかったため、今年度は継続しなかった。部分的な改善に向けた取り組みはされたが、全体的な面での大きな効果に至らなかった。

答 産業課長 ペット同伴、料金改定などの改善やホテル従業員の

景観条例に対する認識の相違は

矢口 政一 委員

問 防災倉庫の建設に対し、3人の景観審議会専門委員から町長と議員に計画の見直しを求める上申書が届いた。景観条例に対し町との認識の相違はないか。

答 総務課長 町には景観のほかにも大きな柱となる施策が複数ある。この事業は町民の福祉増進のため、議会とも相談しながら計画を練ってきた。できるだけ景観に配慮して進めたい。



景観審議会

学力向上対策は

沼澤 道也 委員

問 全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学）の結果は、学力向上対策のひとつの指標であると思うが、今年の結果や課題、また今後の対策は。

答 教育長 小学校では例年算数が劣るが、今年は県平均より上だった。中学校も数学が



タブレット学習

神室スキー場の充実

栗田 保則 委員

問 昨年度のスキー場従業員数と給与状況は。また、今年度指定管理をお願いする(株)ライズに期待することは。

かったためスタッフは8名、給与は例年の8割ほどだった。産業課長 (株)ライズには、スキー場運営のあらゆる面において専門性の高い事業展開を期待している。収益をあげていただき、今後指定管理料を少しでも軽減できればと思う。

答 産業課長補佐 昨年度は営業日数が少な





大場 洋介 議員

命と地域を守る 防災教育を

回答 女性の防災リーダー育成を強化

頻発する自然災害に対し、地域防災計画や防災意識を高めるには、大場洋介議員 この度の豪雨災害において、いち早い避難所開設や町が初めてとなる高齢者等世帯への避難の呼びかけ・対応などに評価する。今後の防災や被災を考慮した様々な備えは。

町長 令和5年3月に全面的に修正したが、能登半島地震を踏まえ、国・県の修正点を反映させる形で今年度末を目途に修正したい。配布予定の防災タブレットを含め、町独自の計画を盛り込んでいく。

大場議員 災害リスクとは自然災害を正しく認識する大切な情報の一つである。特に風水害に関する指標や評価



9/1 金山町総合防災訓練

大場議員 持続可能な社会に向けた諸施策は、フードバンク等の寄付への理解向上と受け皿となる体制整備が求められる。地域福祉にも繋がるシェアリングサービスやフードドライブの現状は。

町民税務課長 ハザードマップに被害想定区域が記載されている。しかし、どの程度リスクがあるかといった具体的評価方法はない。

大場議員 普段生活する場所と違い、帰省・外出先での災害に遭遇した場合での対応と人とペットの命を守る備えは

大場議員 持続可能な社会に向けた諸施策は、フードバンク等の寄付への理解向上と受け皿となる体制整備が求められる。地域福祉にも繋がるシェアリングサービスやフードドライブの現状は。

ただ 町政を質す ～一般質問～



9月定例会初日（9/5）に令和7年1月1日に町制施行100周年を迎えることを受け、議会及び執行部が記念ポロシャツを着用して本会議に臨んだ。また、新たにタブレット端末を導入した議会運営を開始した。（P15参照）



◆ 大場 洋介 議員 P 9

- (1) 総合的な防災体制の充実について
- (2) 食品ロス削減への取り組みについて



◆ 寒河江 宏一 議員 P10

- (1) 金山町の災害対策について



◆ 五十嵐 優一 議員 P11

- (1) 災害対策について



◆ 須藤 典夫 議員 P12

- (1) ホットハウスカムロの建て替えの進捗状況は
- (2) 荘内銀行金山支店の閉店の影響は
- (3) 「道の駅」の調査検討を行ってはどうか



◆ 中村 忠行 議員 P13

- (1) 地域おこし協力隊について



寒河江 宏一 議員

金山町の災害対策の課題は

回答 自主防災組織と町民の防災意識を高めることが重要

タブレットを活用し、防災訓練の在り方も含め効果的な取組を進める。

総務課長 非常用電源設備及び更新となる高圧受電設備キュービクル、多目的に活用できる。発電機は、停電時に

役場庁舎全体を72時間以上稼働できる設備でなければならぬため、東北電力との契約電力の3倍程度（160キロワット）を出力できる規模が必要。燃料は入手が容易な軽油で、3000ℓ規模の地下タンクを想定している。

豪雨災害（7/25）の課題と対策は

寒河江 宏一 議員 金山町の災害時の課題は何か。

町長 災害時の課題に公助、共助、自助がある。

公助については、他の自治体では既にある役場庁舎の非常用電源が無く、また適切な規模の備蓄を行う必要がある。避難所の収容人数も、町の指定避難所以外の選択肢についても検討が必要である。さらに、学校と連携しながら防災教育に取り組む考えである。

共助については、各地区自主防災組織と連携して災害リスクを確認し、役割分担など組織の体制づくりを改めて進めていく必要がある。自助については、先日の大雨で初めて避難指示を発令したが、今後より危険な状況が生じた場合、適切に避難する必要がある。県内で非常用電源設備が無い自治体は金山町のみであり、令和7年度に設置工事を実施する予定である。

寒河江 議員 今後の対策は。
町長 自主防災組織と町民の災害意識を高めるため、町からの積極的な働きかけが重要と考える。また、今年度配布する

寒河江 議員 どのような機能の設備を想定しているのか。



非常用発電装置設置予定地

事業費は、2億5千万円で起債の約7割が国から交付税措置を得られる緊急防災対策債の予定である。

金山町も「災害の無い町」とは言えないのでは

回答 平時から十分な準備を行なう



五十嵐 優一 議員

警戒本部の動きは

五十嵐 優一 議員 7月25日の大雨による土砂災害警戒情報が発表され、避難指示が発令し、地域福祉センター「やぐし苑」を避難所として開設した。町及び防災関係機関等の業務状況は。

町民税務課長 25当日は、8時30分に金山町警戒本部を設置して最初の会議を開催した。当町では初めての避難指示を9時15分に発令することを決定し、やぐし苑を避難所として開設した。

合わせて7回の会議では、道路や農地等の

パトロール、避難所への避難の状況・学校の一斉下校の対応なども報告された。町民からの多数の被害の連絡に對しては、消防団からも土のう積みなど対応した。

関係機関の状況は、警戒本部会議には消防団長も参加し、各消防団にもいつでも出動できる指示をすることともに、注意喚起の巡回も行なった。また、消防支署及び駐在所とも随時、被害状況等の共有を行った。

更には、総合支庁から派遣された連絡員も警戒本部会議に参加し、会議の状況を随時、県の防災担当に報告をした。

避難所運営の課題は

五十嵐 議員 避難所の状況・課題は。
健康福祉課長 金山町地域福祉センター「やぐし苑」に避難された



避難所設営状況（改善センター）

方の最終的な人数は、15世帯31人となり、職員体制は、交代しながら概ね8人体制で対応した。

避難所開設及び運営は、概ねスムーズに対応できたと考えているが、避難スペースの区分やペット同伴避難等への対応は、今後、更に検討が必要と考えている。

大規模な避難の場合、空調や電源、避難スペースの問題などもあり、それらを想定した備えも必要と考えている。



破損した水道管

ライフライン対策は

五十嵐 議員 河川に添架されている水道管等の状況・課題と今後の対応は。

復旧・復興に向けた支援は

五十嵐 議員 災害ボランティアセンターの設



災害ボランティアセンター（戸沢村）

置・運営に対する支援は。
町長 大規模災害が発生した場合、災害対策の本部の要請を受け、金山町社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置し、運営する。

センター開設の初期段階は、現在の社会福祉協議会の職員体制だけでは、対応が難しく、県の社会福祉協議会や各市町村からの支援に加え、役場からの応援スタッフの派遣も必要と考えており、7月の大雨災害時にも、戸沢村と鮭川村の災害ボランティアセンターの運営に職員を派遣し、研修を重ね活動経験をした。



須藤 典夫 議員

温泉施設のスケジュールは

須藤典夫議員 ホットハウスカムロの建て替えの進捗状況は。

町長 建て替えのほかに改修の方向性についても併せてよく検討する必要がありますと判断したため、「令和7年度中の完成」を目標にというスケジュールは非常に厳しい状況となっている。今後の予定では建て替えの場合は令和8年度末又は令和9年度オープンの見込みに考えている。



移転・統合した荘内銀行金山支店（新庄支店と統合）

ピード感を持ちながら進めていく必要がある

ことは十分認識しているが、拙速に進めることで誤った判断をしながら、着実に、よ

ホットハウスカムロをどうする

回答 建て替えか改修か検討中

り良い施設の実現に向けて進めていく。

荘内銀行金山支店の移転の影響は

須藤議員 町の指定金融機関でもある荘内銀行金山支店が9月6日で支店業務を閉じることになったが、どのような影響があるのか。

会計管理者 金山支店移転後の指定金融機関事務については、荘内銀行新庄支店で集配金のため毎営業日に来庁のうえ、報告書等帳票関係の授受、支払及び収納の現金取扱の他、指定金融機関事務をこれまで同様に行っている。現行からの変更として各種報告書の期

日及び事務手続き等に1日程度余計に時間を要することとなるが、他は特段大きく変更となる点もないことから指定金融機関事務については引き続き支障なく担っていただけのも

「道の駅」の調査を

須藤議員 令和4年3月定例議会にて、ポストコロナ交流人口拡大対策特別委員会の調査報告書の中で交流人口拡大策として、高規格道路開通に合わせた最上8市町村のランドマークとなる「道の駅」や新庄市単独で計画している「道の駅」建設の動向を注視するとあるが、町としても調査検

討を行ってはどうか。

町長 金山町が単独で持続可能な道の駅を整備するというところにきましては、現時点では難しいと考えている。ただ、可能性を探るべく再度職員プロジェクトチームによる調査・研究を進めてもらってもいい。この結果につきましては、10月中旬に予定の職員プロジェクトチーム報告会において報告させていただく。

地域おこし協力隊員の定住促進策を

回答 今後の募集に向け主要団体と協議



中村 忠行 議員

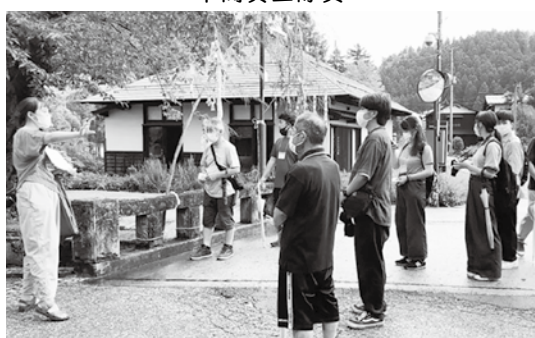
地域おこし協力隊に多くの方から応募していただくためには
中村忠行議員 最上管内では、鮭川村に応募が多いと聞く。金山町との相違点は。
総合政策課長 鮭川村は優秀なキーマンとなる地域おこし協力隊が数多くの風習・伝統料理等や地域資源である鮭を活用したミッションを展開し、その事業展開に賛同した地域おこし協力隊の応募が多かったと聞いている。
中村議員 近隣町村と比較すると報酬の最低金額が低いのでは。

総合政策課長 令和6年度より地域おこし協力隊一人当たりの上限が480万円から520万円に改正され、人件費相当となる報酬費が320万円、残りが活動経費として200万円となった。
全国から優秀な協力隊を確保するためにも報酬費については他自治体との格差が生じないように対応が必要と考えており、今後の募集に向け最低金額を引き上げることは可能であり、他町村を参考に見直しをしたい。

池田達哉隊員



本間真生隊員



川村佳恵隊員



大友淳隊員・澤野美香隊員

協力隊員の活動を活性化するためには
中村議員 協力隊任務終了後に「地域おこし協力隊」の活動支援やアドバイザーとして非常勤職員または事業委託をお願いできないのか。

総合政策課長 協力隊への活動支援やアドバイザーとしての地域おこし協力隊員は大変有益な人材であり、任期終了後の町との関りや事業調整を進めたい。協力隊支援として、協力隊OBが現職隊員のサポートを行うことに対しての財源措置があ

り、今後活用について併せて検討していきたい。
協力隊員が定住できる環境づくりは

中村議員 人材確保が難しくなっている団体・企業・商店等から協力隊の活動内容について、町と協議の場を設けては。

総合政策課長 町内主要団体の人材不足については、令和6年度当初予算に係る意見交換会等で多くの意見をいただいている。
協力隊の派遣については、制度や人材確保の面から相談いただいている団体もあり、改めて主要団体との協議に加え、ミッションや今後の募集に向け調整をしていきたい。

小学校の災害対応は

～総務文教常任委員会～

問 7月豪雨で小学校プールが被災したが、将来的なことを考え小中学校統合の考えは。

答 今後地質調査を行い専門家の判断を仰ぐ予定。もし使えないという場合は、現在の中学校と併設する形が小中が通える新しい校舎も考えられる。町長からも並行して調査するようにとの話があった。

問 新南金山校について県との協議があったそうだが。

答 来年度以降の方針の取りまとめが趣旨だった。現在の状況としては、定員40名に対して、約半数となっている。

問 職員採用試験で土木技術員と社会福祉士に社会人枠があるが。

答 今年度から社会人枠の募集を開始した。社会福祉士や土木技術員は、応募が少ない。社会人が新庄最上に戻ってこれる環境にと社会人枠として募集を行った。

問 企業版ふるさと納税の業務委託は。

答 マツチング支援の3社には、成功報酬を支払うこととしており、企業の決算期などで金山町にふるさと納税をすると9割が損益計算となることを説明していた。また、寄付額増を目指す。防災訓練における各地区での課題解決のためには。

問 職員の危機管理演習後に大雨の災害が起きた。町としては、今後の災害における各地区での課題解決に向けて各課でどのような対応をしていくべきかを確認し対応を考える。

答 職員の危機管理演習後に大雨の災害が起きた。町としては、今後の災害における各地区での課題解決に向けて各課でどのような対応をしていくべきかを確認し対応を考える。



7月豪雨による被災現場を確認

7月25日からの大雨は、庄内・最上地方を中心に降り続き、一時「大雨特別警報」が新庄市・舟形町・鮭川村・戸沢村に発表された。降り始めからの雨量は金山町で300.5mmとなり、町では初めて「避難指示」を発令し、地域福祉センター「やくし苑」に避難所を開設した。

戸沢村では最上川堤防からの越水による住家への床上浸水、鮭川村では土砂崩れによる家屋倒壊など甚大な被害をもたらした。

議会では、8月7日に金山小学校プール付近の崩落現場と、神室スキー場迂回コースの大規模土砂崩れの現地を確認した。

平成30年8月5日からの大雨程ではないもののまざまざと自然の脅威を見せつけられた。



神室スキー場迂回コースの大規模な土砂崩れ

このような災害を受け、町では一般会計補正予算（第4号）で、町道2路線の法面崩落、普通河川鍋倉川支川の護岸倒壊等の応急復旧工事及び神室スキー場迂回コースの大規模土砂崩落に伴う応急復旧工事を措置した。

また、一般会計補正予算（第5号）においては、町内水田等の農地・農業施設の災害復旧に伴う小規模農地等災害緊急復旧事業費補助金、さらには、一般会計補正予算（第6号）では、金山小学校裏山地質調査委託料など、災害に伴う費用を措置した。

本災害は、9月11日に「激甚災害」に指定され、国から各復旧事業に対する財政援助が嵩上げされる。

公共インフラや教育施設、観光施設の早急な復旧が望まれる。



崩落した金山小学校裏山

激甚災害指定により 受益者負担軽減

～産業厚生常任委員会～

問 豪雨災害の激甚災害指定により国庫補助金が引き上げられ、特別な対応となるが現在の状況は。

答 農地被害での有利な交付金利用を確認中。受益者負担3分の1も軽減できるか検討中。

問 若い農業者を育てる上で、周年型農業に向けた事業などへの現状は。

答 周年農業についてハウスの初期投資が課題。過疎債を利用した事業を模索。

問 金山まつり期間中、14日の夜空市は盛況だった。観光・帰省客が多い状況に併せて、露店の出店検討は。

答 実行委員会で露天商に出店が可能か確認し、手応えはあるようだ。今後、出店に関する擦り合わせが必要。

問 地域計画座談会の総括と今後の展開は。

答 全対象者の1割強ほどが参加。10年後の農地の拡大・現

維持・縮小について話を行った。基盤整備をした農地でないと引き受けられないと意見があった。

問 7月豪雨により河川の土砂が堆積している場所が多い。今後の調査・対応は。

答 流下能力に支障が出る基準があり、土砂の置き場と併せて議論する。



金山まつりの露店

議会運営に

タブレット端末を導入

昨年6月定例会で設置された「議会活性化・DX推進特別委員会」において、山形県内22町村議会中、9町村議会を導入しているタブレット端末を利用した議会運営を調査・検討してきた。

調査・検討を重ねた結果、①紙、印刷コストの大幅な削減、②資料の視認性の向上、③グループウェアを活用した情報の即時共有など、メリットが大きいこと、また、町が進めているDX推進事業計画に基づき、タブレット端末の導入を特別委員会で決定した。

会議システムはキッセイコムテック社の「スマートディスプレイスキャション」、タブレット端末はマイクロソフト社製の「Surface Pro」を導入。

この9月定例会からタブレット端末による議会運営を始め、来年3月定例会で正式に移行する予定としている。





町民の声

下向地区副区長・三寿会(下向地区老人クラブ)会員
金山町連合婦人会理事・栃木自衛消防隊員として思うこと

大山 順子 さん(下向)

町制施行100周年、誠におめでとうございます。

○下向副区長

私は今年度より副区長として地区運営に携わっています。金山で初めての女性副区長として男女共同参画社会づくりに貢献できるよう努力したいと思っています。

地区・地域が楽しく元気であれば自然と町全体もそうなると思います。今以上に楽しく元気な住みよい町であるよう願っています。

○三寿会(下向地区老人クラブ)

主な活動は、毎週金曜日の午前中に10名くらいの参加者が地区公民館に集まり、体操・モルック・輪投げ等で体を動かし、月一回は手料理や、弁当を食べながら交流を楽しんでいます。まだ参加していない人も気軽に参加できるよう努めています。

○金山町連合婦人会

9月に天童で行われた第61回北海道・東北ブロック地域連合婦人会研究大会、10月に京都で行われた第72回全国女性団体研究大会に参加しました。

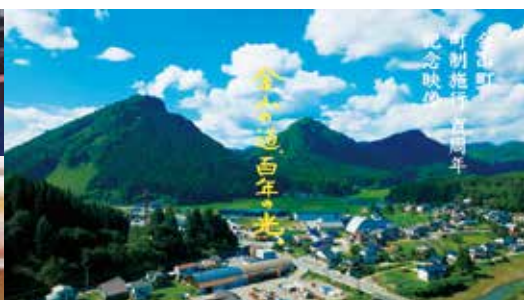
地域の女性たちが手を結び、住民すべての幸せのために行動を起こすことが社会教育団体として、婦人会の真の姿であることを学んできました。会員数は減っていますが、町になくってはならない連合婦人会であるよう頑張ります。

○栃木自衛消防隊

毎年12月から3月までの月2回、火の元検査で各家々を周り、火の用心の声掛け・安否確認・排雪のお手伝い等を行っています。“自分たちの地域は自分たちで守る”をモットーに地域の安全・安心に寄与することを目的に活動しています。

12月議会定例会は12月3日(火)～6日(金)の予定です
町民の皆様の傍聴をお待ちしています

日程は近くなりました町ホームページ内の議会ページでお知らせします。



10月5日(土)に町制施行100周年記念式典が行われた。
式典では、3名の町民スピーチや5名の未来ビジョン宣言が行われ、「祝意と感謝」「夢を動かす」町民全員が主人公にふさわしい式典であった。
11月23日(土)にはYBCで特番が放送される。

本号の表紙

発行責任者 栗田 保則
議会広報常任委員会 星 川 智子
副委員長 大 中 村 忠行
委員長 五十嵐 洋介
委員 宮 林 聡志

YouTube【山形県金山町公式チャンネル】に各種動画をUP!

金山町町制施行100周年 記念式典オープニング映像

<https://www.youtube.com/watch?v=HANLK9C7Flg> (2:12)



金山町町制施行100周年 記念アニメーション

<https://www.youtube.com/watch?v=-uy8dejZOJk> (1:09)



金山町町制施行100周年 記念映像～金山の道、百年の光～

https://www.youtube.com/watch?v=Qh_nT4WksA8 (30:05)

